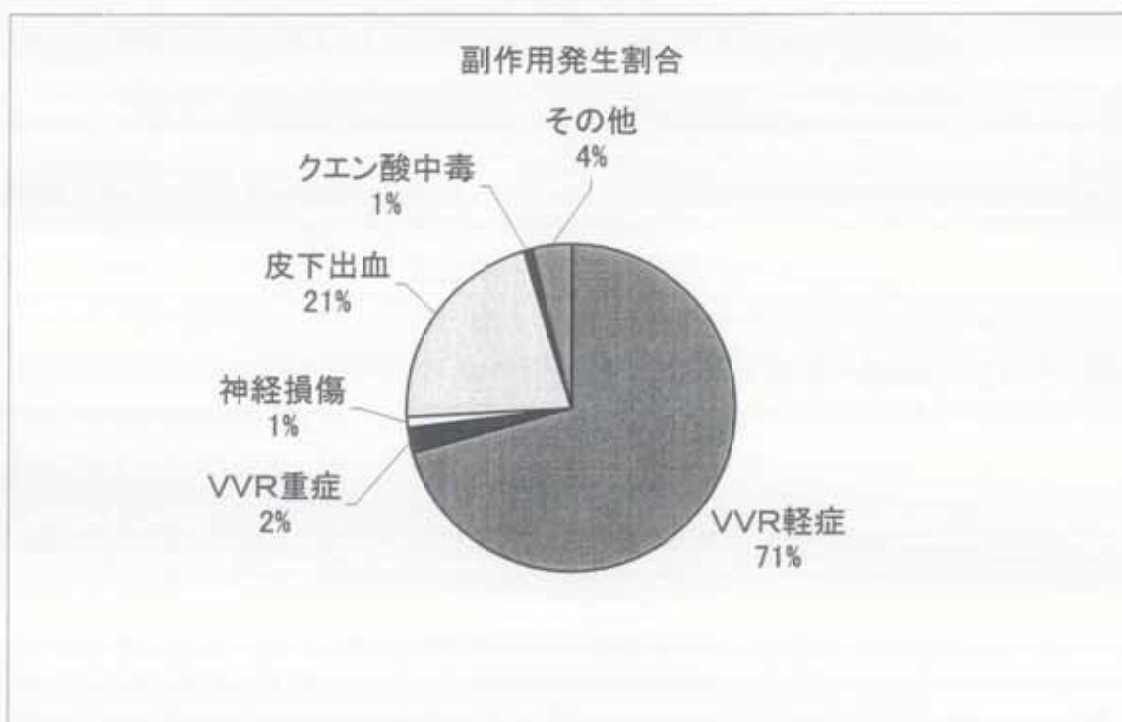


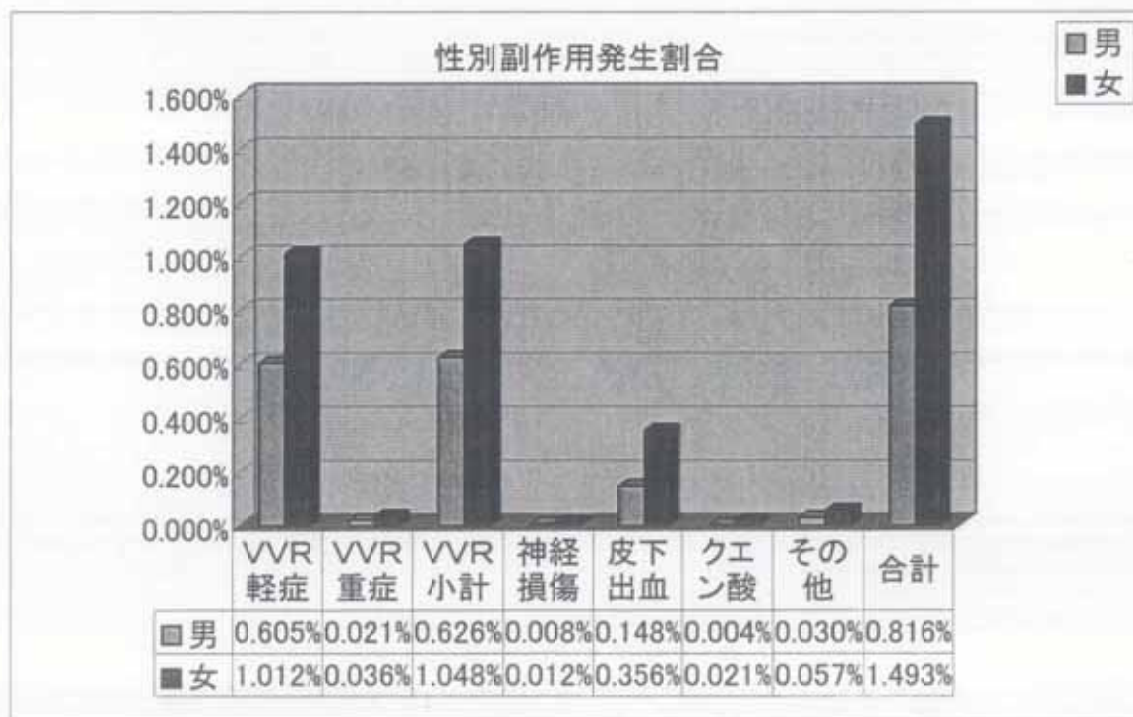
2. 平成15年度の採血副作用の分析

VVR軽症	VVR重症	神経損傷	皮下出血	クエン酸中毒	その他	合計
0.764%	0.027%	0.010%	0.229%	0.011%	0.041%	1.080%

・全献血者の約1%で何らかの副作用が発生している。

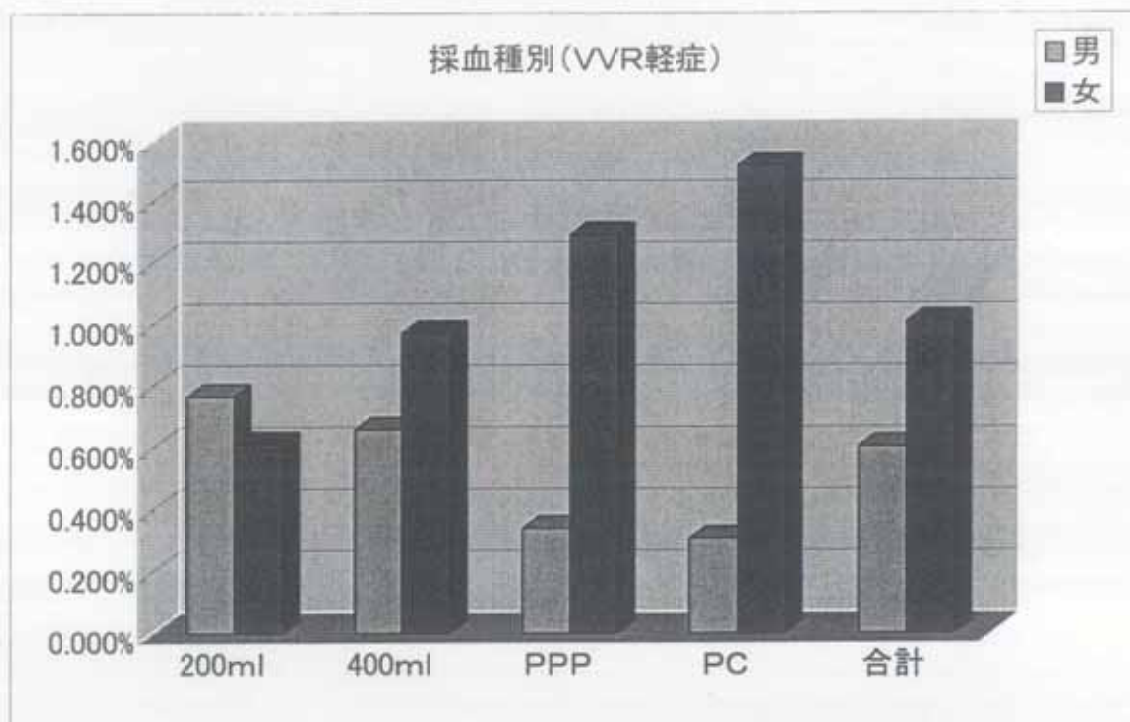


・副作用の割合では、VVR(軽症・重症)で73%を占め、皮下出血の21%を含めると全体の94%となる。

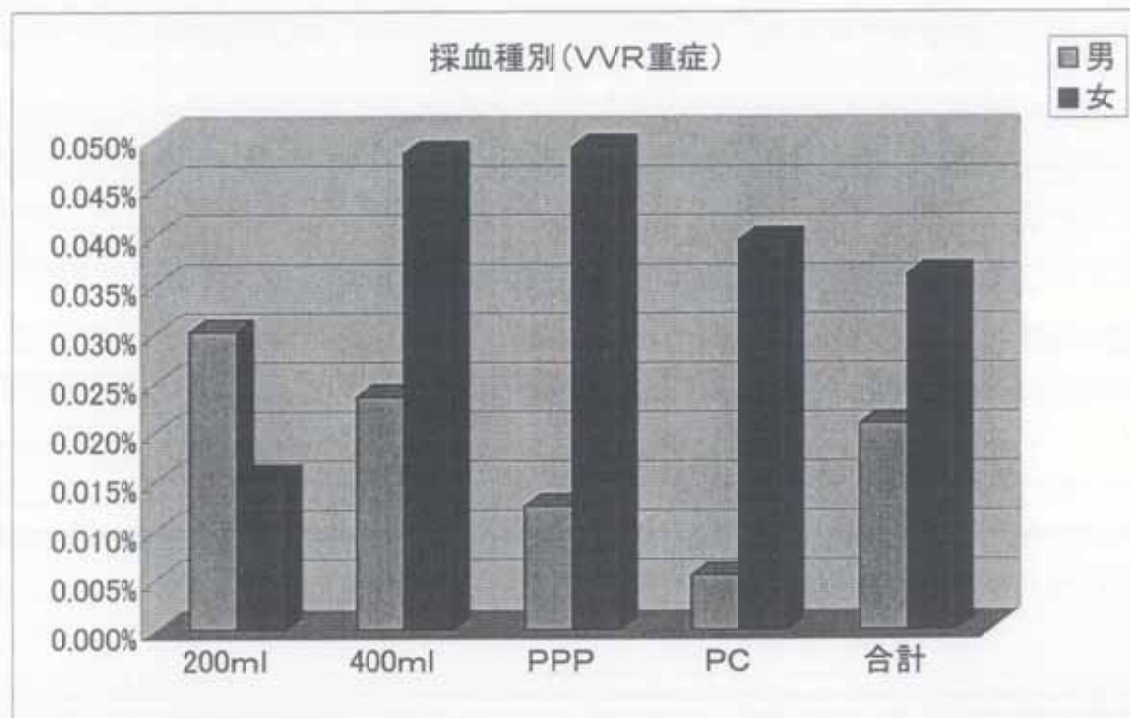


・全ての副作用において女性の方が高い傾向にある。

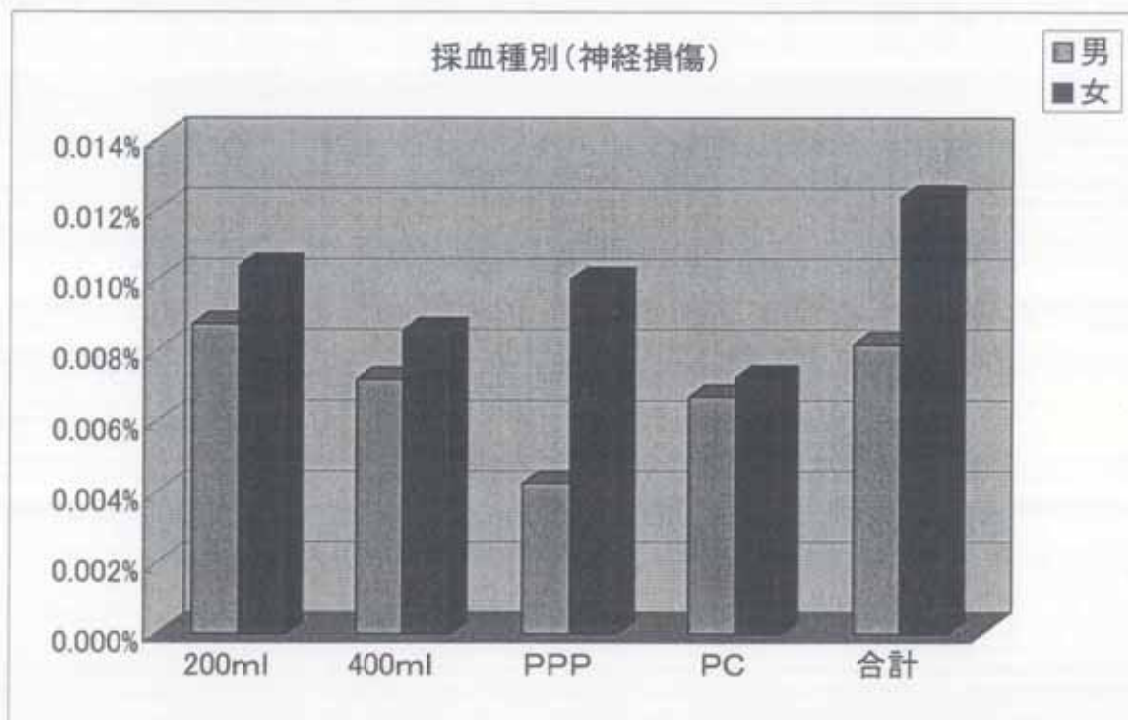
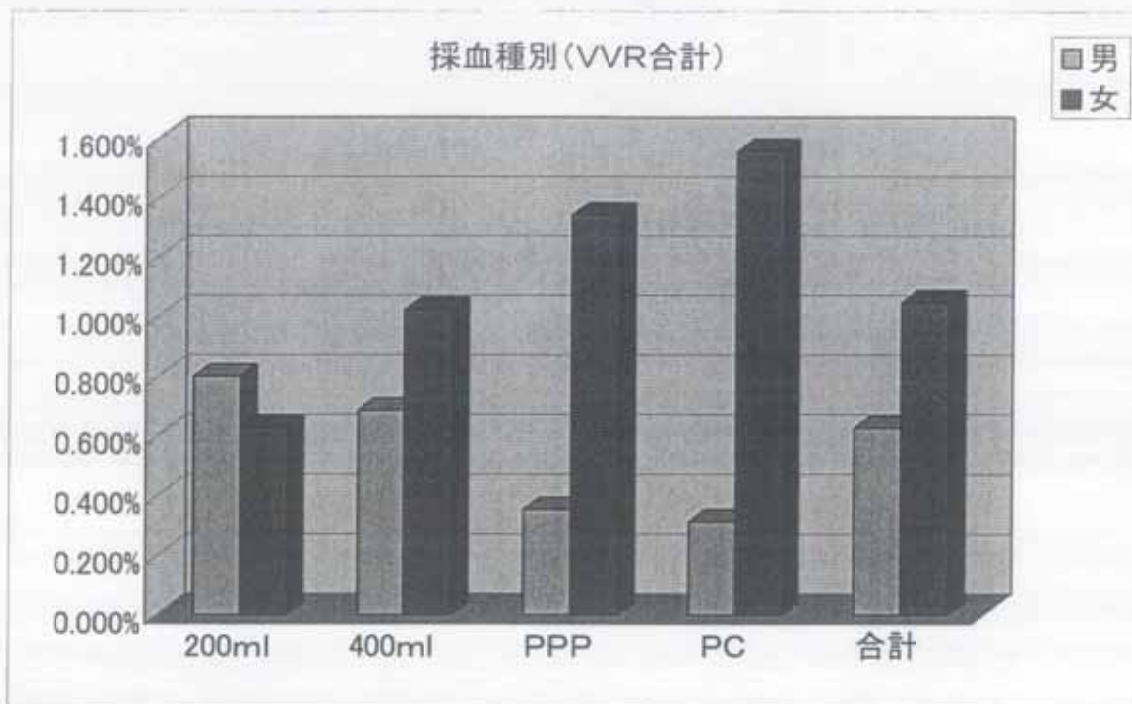
・採血種別・性別・副作用別による傾向

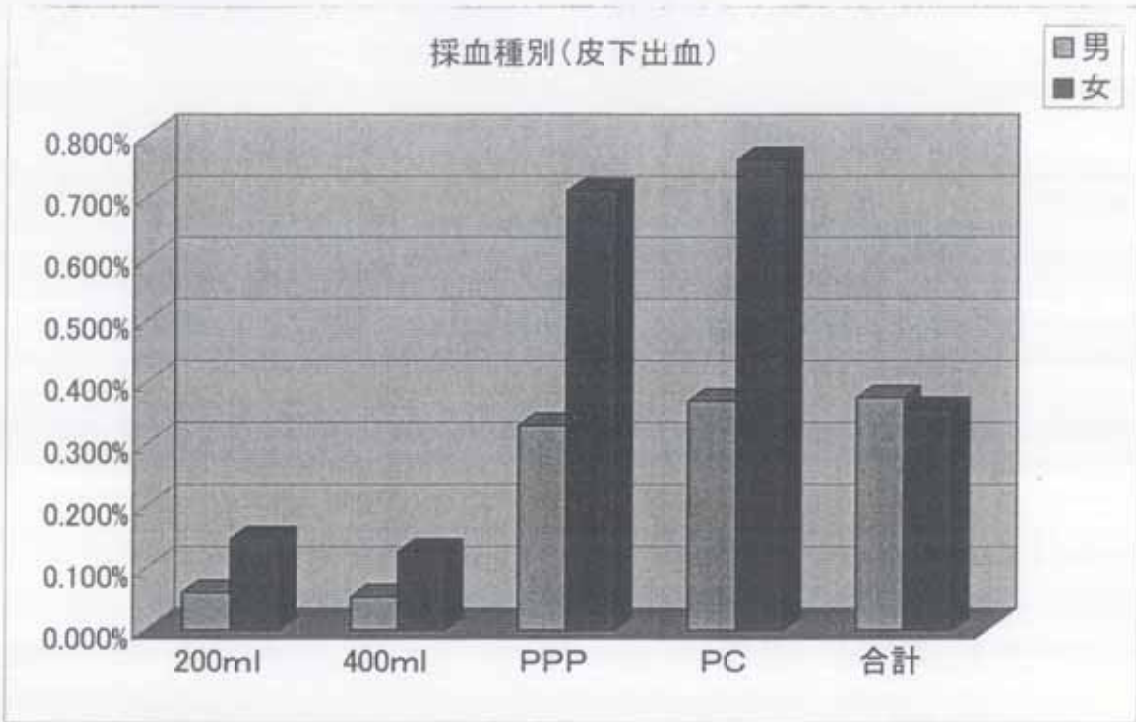


・成分採血では男性が少なくなっているが、女性は多い傾向にある。

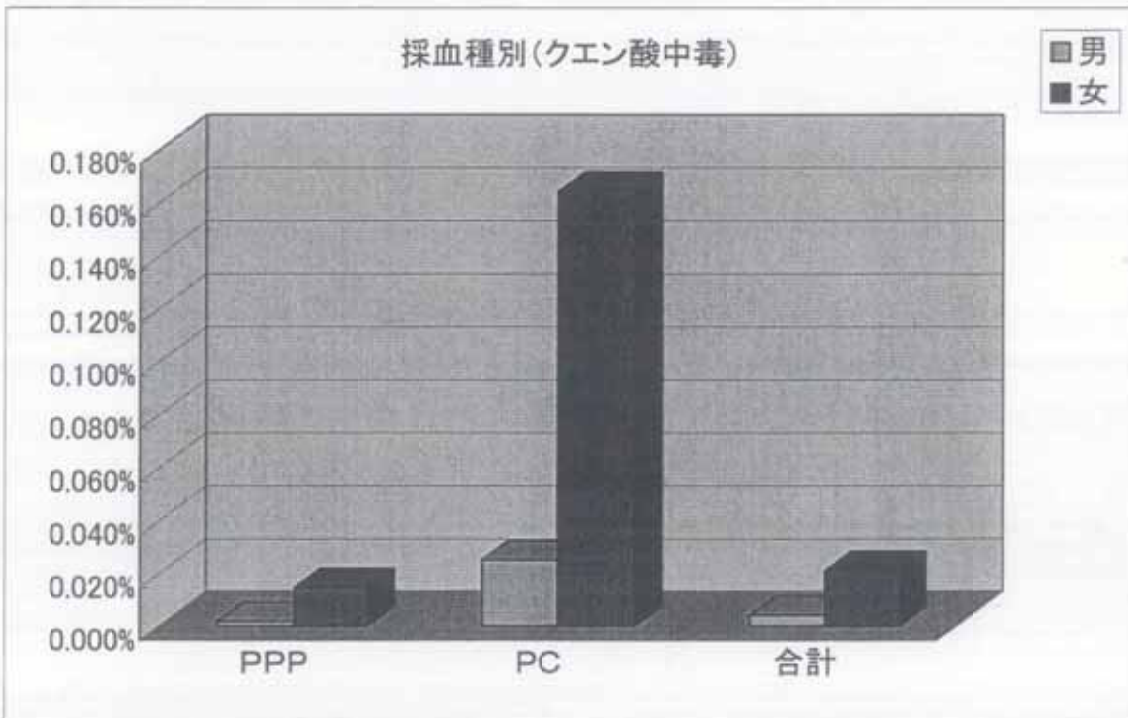


・VVR軽症と同様に、成分採血では女性が多い傾向にある。

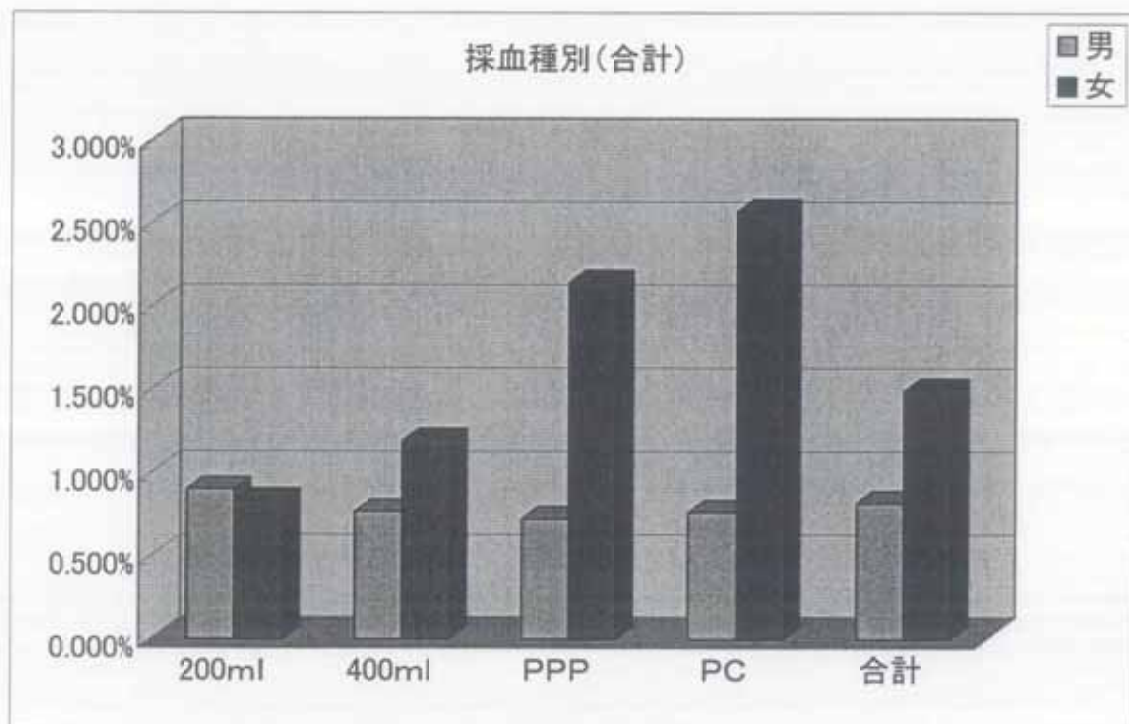
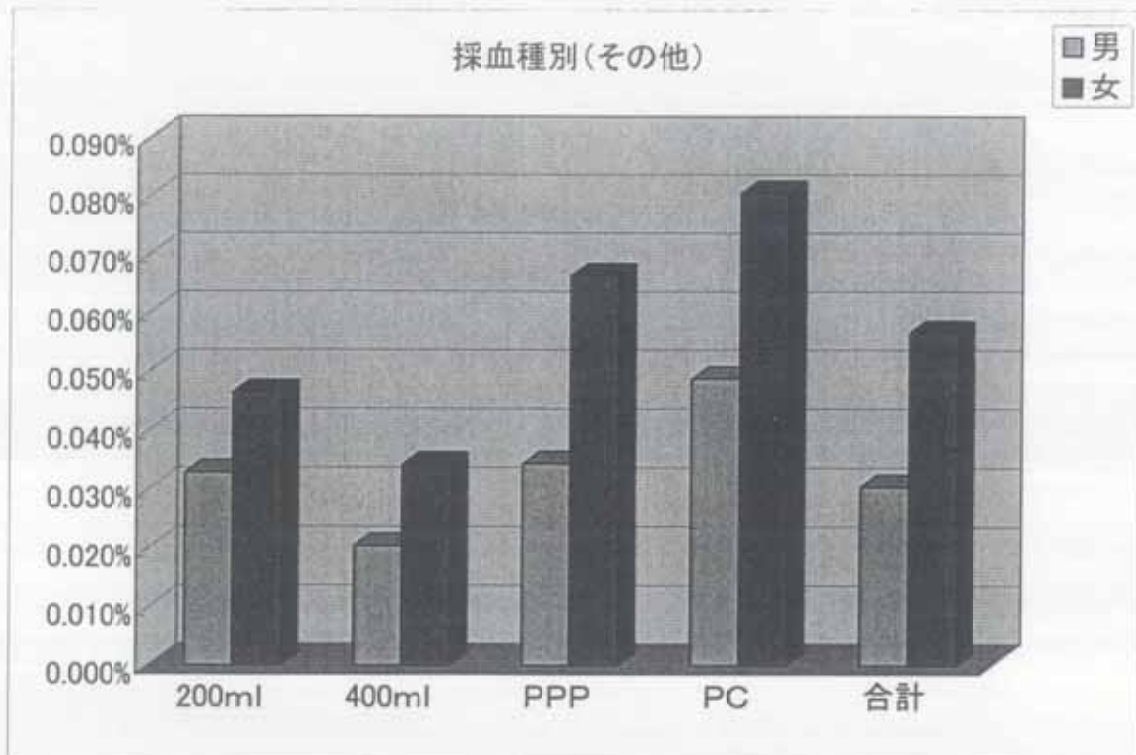




・200mL、400mL採血では頻度が低いが、成分採血になると増加する。



・PC採血で女性が多い傾向にある。



- ・男性では採血種別で同程度の頻度で発生する。
- ・女性では200mLからPCへと直線的に高くなる傾向にある。